

沿 革 ・ 活動実績			
2004 年 6 月	任意団体として設立	11 月	講座「これからの札幌圏の公共交通機関について考えよう！」開催
2006 年 3 月	なまら便利なバスマップ初版発行	2011 年 1 月	なまら便利なバスマップ第 6 版発行
11 月	第 4 回パートナーシップ賞受賞、NPO 法人認証	8 月	在札被災者支援「さっぽろの歩き方」発行
2007 年 6 月	なまら便利なバスマップ第 2 版発行	2012 年 1 月	なまら便利なバスマップ第 7 版発行
7 月	えき・バスナビ&バスマップ使い方講座開催（札幌市、（公財）北海道環境財団共催）	2 月	冊子「公共交通で札幌のイイトコ発見しよう！」（4 編）発行
11 月	「札幌公共交通おでかけ講座」開催（道立市民活動センター協働講座）	3 月	交通まちづくりシンポジウム開催
2008 年 6 月	なまら便利なバスマップ第 3 版発行（（公財）秋山記念生命科学振興財団助成、（社）北海道開発技術センター協力）	2013 年 2 月	交通まちづくりフォーラム開催
8 月	交通バリアフリーサポート事業（実施主体：NPO 法人 NPO 推進北海道会議）	2014 年 1 月	なまら便利なバスマップ第 8 版発行
2009 年 8 月	なまら便利なバスマップ第 4 版発行	12 月	なまらイカしたバスマップ公開
	身障者との外出体験講座（実施主体：NPO 法人 NPO 推進北海道会議）	2015 年 6 月	なまら便利なバスマップ第 9 版発行
12 月	なまら便利なバスマップ第 5 版発行	2018 年 5 月	なまら便利なバスマップ第 10 版発行
2010 年 8 月	「バスマップの底力」（全国バスマップサミット実行委員会 編著）発行に協力	10 月	釧路町公共交通ガイドマップ
		2020 年 9 月	くしろ公共交通マップ（2020.10.01）
		2021 年 12 月	釧路町公共交通ガイドマップ（改定版）
		2022 年 9 月	くしろ公共交通マップ（2022.10.01）
		2024 年 12 月	北海道運輸局管内の各自治体における交通サービス等実態調査等業務

会 員 制 度					
賛助会員	個人	1,000 円	—	・ 情報提供	退会のお申出がない限り、継続できます。
	法人	5,000 円	—		
正会員	個人	—	3,000 円	・ 情報提供 ・ 会員の集いへの参加権 ・ 総会の議決権	1 年間有効。
	法人	—	10,000 円		

団 体 概 要			
法 人 名	特定非営利活動法人（NPO 法人）ゆうらん		
住 所	〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 3 丁目 札幌エルプラザ 2F 札幌市市民活動サポートセンター 事務ブース No.5		
T E L	050-5469-1762		
E メ ー ル	yourun@yourun.net	URL	http://www.yourun.net
理 事 長	松本公洋		
理 事	東田秀美（NPO 法人 旧小熊邸倶楽部 理事長） 佐藤 隆 （NPO 法人 北海道社会的事業所支援機構 副理事長） 原 文 宏 （（一社）北海道開発技術センター地域政策研究所 所長）		
監 事	山本純子（NPO 法人 福祉 NPO 支援ネット北海道 代表理事）		
金融機関	北洋銀行：札幌西支店（普）4 5 4 6 9 0 8 北海道労働金庫：本店（普）4 3 7 8 9 0 1 郵便振替口座 02790-1-64611 （当座）二七九店 0064611		

■入会方法：申込み用紙に必要事項をお書き添えの上メールでご送付いただくとともに、会費等は郵便振替用紙にて、住所・氏名のほか、通信欄に E メールアドレスをお書きの上、郵便振替口座にて、お振込みください。
（会員数：正会員（個人）10 名 ／ 賛助会員（個人）35 名、（法人）2 名）（2025 年 3 月現在）



NPO 法人 ゆうらん

Your quality Of a life will be Up! Run with Us Now!

公共交通をはじめ人々の移動に関する諸問題の解決にむけて、福祉や環境など分野の枠を超えて活動すべく、私たちは今日も走りつづけます。



【業務方針】

公共交通をはじめ人々の移動に関する諸問題の解決や魅力あるまちづくりのために、福祉や環境をはじめとする分野の枠を超えて活動していきます。

■主な業務

- ・ 交通バリアフリーの推進や移動に関する環境負荷の低減に資する調査研究、及び情報発信
- ・ 公共交通の情報をわかりやすく掲示した公共交通路線図「なまら便利なバスマップ」の発行や、web 等による情報発信
- ・ NPO をはじめとする複数セクターとのネットワークや特性を活かした事業の実施
- ・ 受託業務

NPOならではの提案 きめ細かな調査 分かりやすいアウトプット

利用者(市民)目線で応えます！

札幌市の公共交通網を一元化したロングセラー「なまら便利なバスマップ」 ～“あったらいいな”を企画提案、数々のアイデアを盛り込んで発行を継続～

都心直行と地下鉄接続のバス路線をわかりやすく表現

【交通機関】	都心直行 ＜番号に枠有＞	地下鉄駅接続 ＜番号に枠無＞
・北海道中央バス（中）	1	1
・ジェイ・アール北海道バス（J）	2	2
・じょうてつバス（じ）	3	3

停留所の位置を
実態に即して表記



観光地にはイラスト入りで行き
方を表記



札幌市内全域と周辺の公共交通路線図で、バス（6社）、地下鉄、路面電車、JRの全てを網羅。2006年より毎年1万部を制作し、2014年からは協賛広告により発行。市民のみなさまにご活用いただいております。

【該当業務】

札幌市元氣プロポーザル事業「なまら便利なバスマップ」制作業務（札幌市／平成17年度）、「なまら便利なバスマップ第2版」製作用業務（札幌市／平成18年度）。以後、秋山生命記念科学振興財団（平成20年度）の助成、（一社）北海道開発技術センター等の協力により、企画・制作・発行を継続。

詳細な路線一覧表を掲載

路線名	番 号	運 行 区 間	運行本数のめやす		備 考
			平日	土日祝	
手稲線	55	J R札幌駅（エスタ）一宮の沢駅前→富丘→手稲駅南口→手稲営業所前	★★	★★	
	◆55-1	手稲営業所前→手稲駅南口→西宮の沢5条2→J R札幌駅（エスタ）	※	—	朝のみ運行。
	◆宮55	手稲営業所前→手稲駅南口→富丘→一宮の沢駅前	※	—	朝のみ運行。
手稲山線	57	J R札幌駅（エスタ）一宮の沢駅前→富丘→手稲駅南口→手稲山	★★	★	

他市町村の公共交通路線図制作のサポートや、おでかけガイドブック等の制作も行っています。

道内初「交通バリアフリーサポート」を実施

～バス停調査を皮切りに、身障者とのおでかけ体験を実施。移動制約問題を実践的に研究～

●「身体障がい者のバス利用状況改善のためのバス停留所環境調査事業」（2007年）

〔概要〕札幌市内の3つの国公立病院を結ぶバス路線の停留所333箇所を調査。

●「障がいのある方やのりばに迷われている方のための交通バリアフリーサポート事業」（2008年）

〔概要〕8月上旬の10日間、JR札幌駅周辺において、主にバスの乗降介助や各交通機関ののりばに迷われている方などのサポートを実施。（道内初）

●「身体に障がいがある方の自立生活を支援するために、公共交通機関を用いて外出を体験する講座の開催事業」（2009年）

〔概要〕障がいがあっても気軽にお出かけしたい方とお出かけの介助をしてみたい方の“つなぐ場”を目的として実施。

■実施主体：NPO法人NPO推進北海道会議

■研修協力：NPO法人手と手



◀ 札幌駅前にて、目的地までの行き方をご案内するサポーター

▼ 研修を受けた介助者と共に外出する車いすユーザー



交通まちづくりにかかわる「講座」、「フォーラム」等の開催

各種講座

公共交通とまちづくりを考える内容や、マップの使い方など。子ども向けも実施。



フォーラム



交通まちづくりフォーラムでは、約200人が集い、熱心に議論。

【該当業務】

緊急雇用創出推進事業「NPOの特性を活かした地域課題解決型事業」（札幌市／平成23年度）

講師派遣（主なもの）

- 北海道EST創発セミナーin札幌（主催：北海道運輸局、交通エコロジー・モビリティ財団）（2009年）
- 第5回人づくり・地域づくりフォーラム（主催：（財）山口県ひとづくり財団）（2010年）
- 第8回北大ディベート大会「札幌市の交通デザイン」（主催：北海道大学大学院経済学研究科・経済学部）（2011年）

その他

【実施業務】

- 一般：各種事例収集、現地調査（実測、ヒアリング等）
- 専門：一般路線、市町村運営バス（コミュニティバス）の路線再編、ダイヤ再編、公共交通の利用促進企画等の立案

【ネットワーク】

- ・全国各地の交通系NPOとの連携（「バスマップの底力」の共著など）。
- ・福祉系、子育て支援、環境等他分野に所属する正会員により組織。

受託事業実績

【受託】

- 〔国〕国土交通省北海道運輸局 業務名：北海道交通事業者HPユーザビリティ調査（平成24年度）
〔概要〕北海道内の交通事業者58社のホームページの現状を調査し、利用者の視点からより使い勝手のよいホームページにするための改善案を検討。
- 〔自治体〕札幌市 業務名：元氣プロポーザル事業「なまら便利なバスマップ」制作業務（平成17年度）
業務名：「なまら便利なバスマップ第2版」製作用業務（平成18年度）
業務名：緊急雇用創出推進事業「NPOの特性を活かした地域課題解決型事業」（平成23年度）

他、民間企業、NPOとの連携多数

